

ブロッコリー根こぶ病圃場診断・対策支援マニュアル

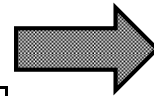
step1

圃場診断 (診断項目ごとに点数化)			
診断項目	1点	2点	3点
病原菌	検出無し		検出有り
排水性 (多雨後耕起可能 までの日数)	良好 (1~2日)	やや不良 (3~4日)	不良 (5日~、滞水や 湿害起こり易い)
土壌pH	pH6.5以上		pH6.5未満
発生歴	発生無し 被害無し	発生有り 被害無し	多発し 被害有り
アブラナ科 作付け	初めて・ 4年以上輪作	栽培歴長い・ 作付頻度高い	連作・ 年2回作付け
農家所有他圃場 の発生	無し		有り



step2

圃場評価 (圃場診断の合計点で発病ポテンシャルレベルを算出)	
合計点	発病ポテンシャルレベル (発病の可能性)
~9点	レベル1 (発生してもわずかな発病)
10~13点	レベル2 (発生するが被害なし)
14~16点	レベル3 (多発し被害が出る)
17~18点	レベル4 (多発し被害が大)



step3

発病ポテンシャルに応じた対策 (発病ポテンシャルレベルと同レベル以上の対策レベルの いずれかあるいは複数項目を選択して実施)		
対策レベル (防除目標)	項目	内容
レベルI (発病を低く保つ)	輪作 (4年以上)	連作や年2回の作付けはしない
	野生種えん麦の作付け	「ヘイオーツ」
	高畦栽培	中耕除草による畦立ても含む
	排水対策	サブソイラー、プラウ等
	農機具の洗浄	トラクタの洗浄
レベルII (発病を減らす)	薬剤のセル苗灌注	アミスルプロム水和剤DF
	緑肥用大根の作付け	「コブ減り大根」
	pH矯正 (石灰資材)	pH6.5以上
	排水性改善	明渠や暗渠
レベルIII (被害を防ぐ)	薬剤の併用	土壌混和とセル苗灌注の併用
	防除技術の組合せ	薬剤処理と緑肥用大根および 抵抗性品種の組合せ
レベルIV	栽培回避	当該圃場ではブロッコリーを 作付けしない。